

1. アンケート調査の実施概要

(1) 調査目的

本市の限られた土地を有効に利用し、より住み良い魅力的なまちづくりを進めていくための「国土利用計画(大月市計画)」の策定にあたり、本市の今後の土地行政への対応策を検討する参考資料として、土地利用に関する住民の意向をより広く公平に把握するため、アンケート調査を下記の要領のとおり実施しました。

(2) 調査概要

- ア. 宅地開発と土地利用のあり方について
- イ. 土地利用に係る今後の行政施策について
- ウ. 農地及び山林所有者の意向について

(3) 実施方法

- ア. 調査期間 平成24年3月9日から3月26日
- イ. 標本抽出 1,500票
- ウ. 抽出方法 市内在住の住民基本台帳から無作為抽出
- エ. 配付回収 郵送による配付と回収

(4) 回収結果

回収結果	回答数	構成比
配付数	1,500	100.0%
有効回答数	652	43.5%

地区別	回答数	構成比	地区別	回答数	構成比
笹子町	33	5%	賑岡町	86	13%
初狩町	44	7%	七保町	96	15%
駒橋1・2・3丁目	71	11%	猿橋町	131	20%
御太刀1・2丁目	38	6%	富浜町	95	15%
大月1・2・3丁目	11	2%	梁川町	26	4%
大月町	13	2%	合計	644	100%

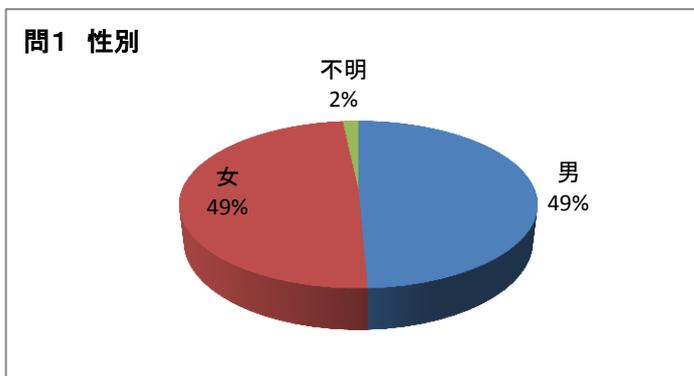
※回答者の内訳(未記入者含まず)

2. アンケート調査の集計結果

(1) 回答者の属性

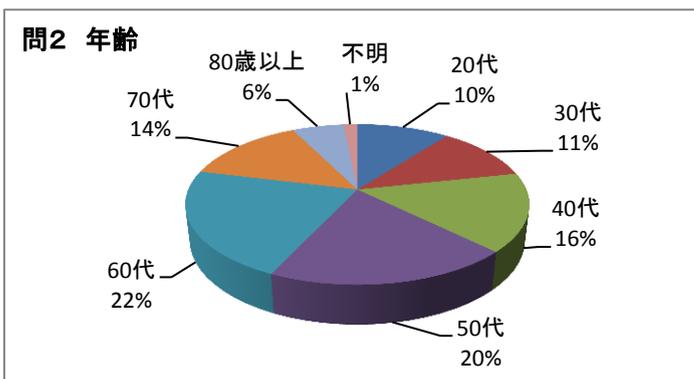
問1. あなたの性別をおしえてください。

男性、女性ほぼ同数であった。



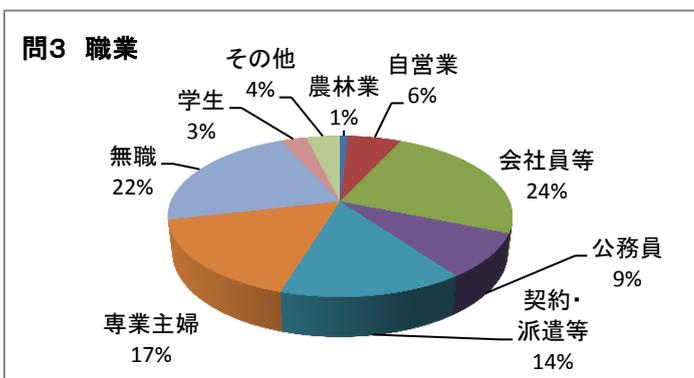
問2. あなたの年齢はいくつですか。

年齢は60歳代が22%、50歳代が20%と多いものの、各世代に幅広く分散している。



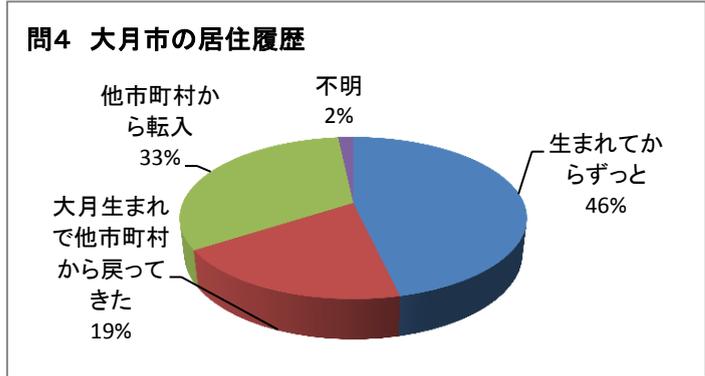
問3. あなたの職業はなんですか。

職業は、会社員等が24%と最も多く次いで無職22%、専業主婦17%の順になっている。



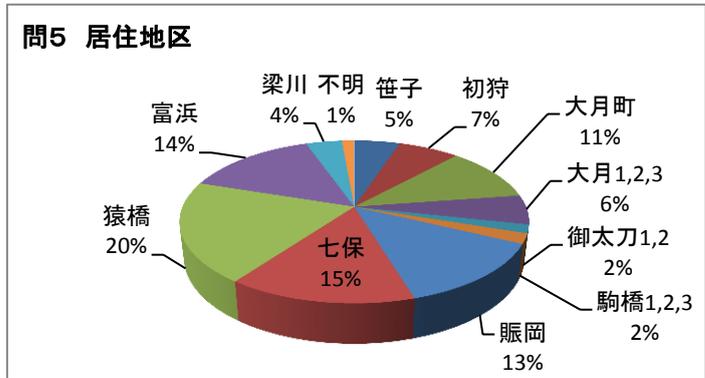
問4. あなたはいつから大月市にお住まいですか。

「生まれてからずっと大月市に住んでいる」が46%で、「生まれは大月市で他市町村から戻ってきた」が19%あり回答者の65%が大月市生まれとなっている。



問5. あなたのお住まいはどの地区ですか。

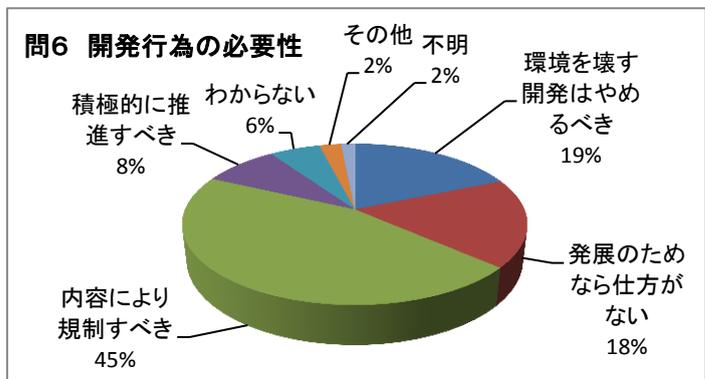
猿橋町が最も多く20%、次いで七保町15%、富浜町14%、賑岡町13%の順になっている。



(2) 集計結果

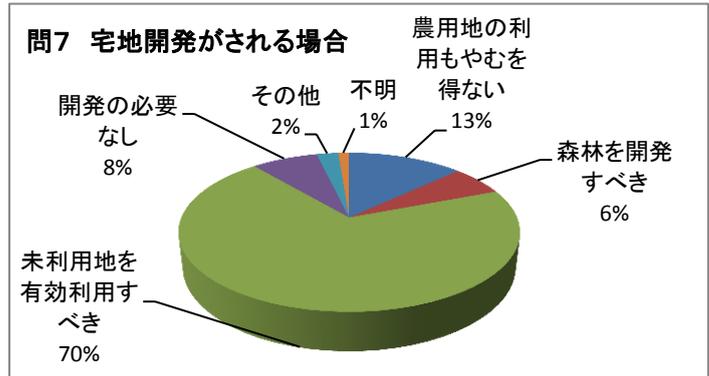
問6. あなたは開発行為(ゴルフ場や宅地造成等)などを必要と考えますか。

「開発の内容によっては規制すべき」が45%「環境を壊す開発はやめるべき」が19%と開発に慎重な意見が64%を占め、「発展の為なら仕方ない」が18%、「積極的に推進すべき」が8%と開発を容認する意見が26%となった。



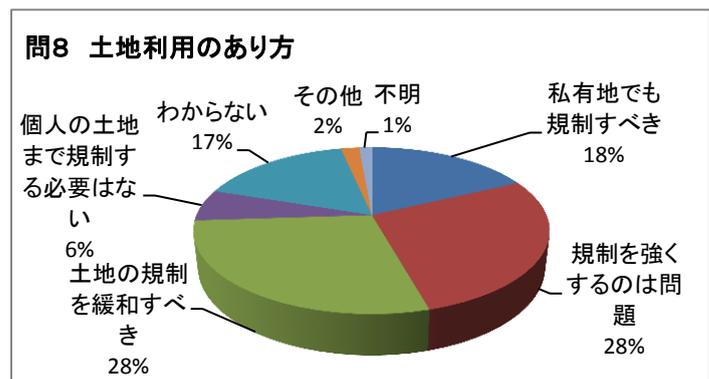
問7. 宅地開発がされる場合、あなたはどの意見に賛成ですか。

「遊休地等の未利用地を有効利用すべき」が70%、次いで「農用地の利用もやむを得ない」が13%となっている。



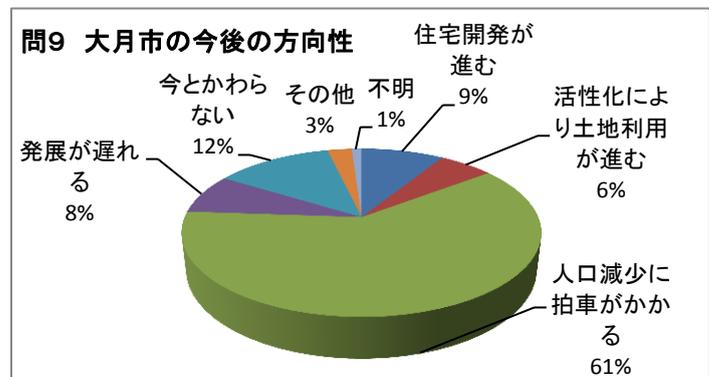
問8. 土地利用のあり方についてどう思いますか。

「積極的に土地の規制を緩和すべき」と「規制を強くするのは問題だ」という回答が28%で「私有地でも規制すべき」が18%であった。



問9. 大月市は今後どのような方向に向うとお考えですか。

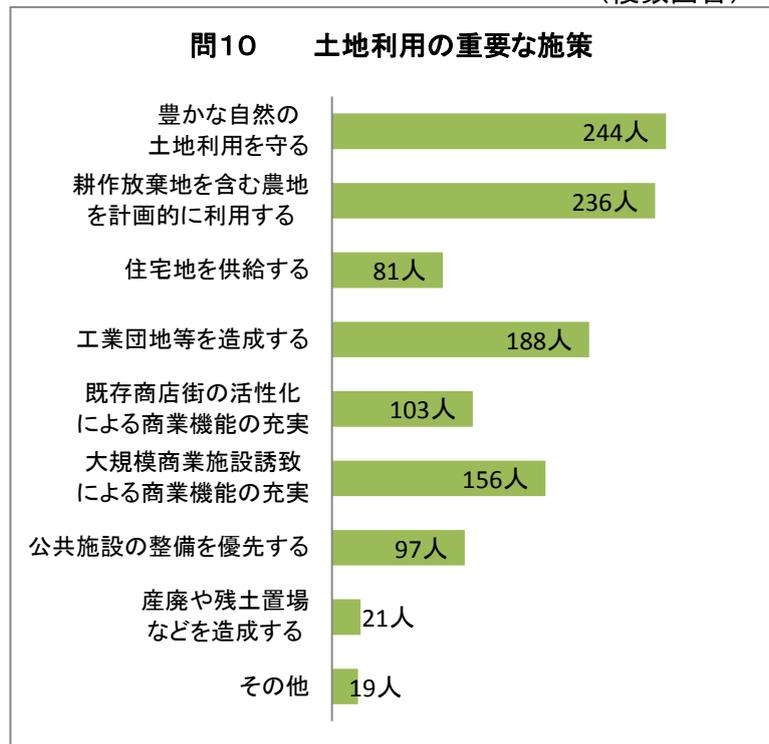
「工場等の撤退により、空き家などが増え人口減少に拍車がかかる」という回答が61%と最も多かった。



問10. 大月市の土地利用に係る行政施策のうち、あなたが最も重要と思われることを選んで下さい。

(複数回答)

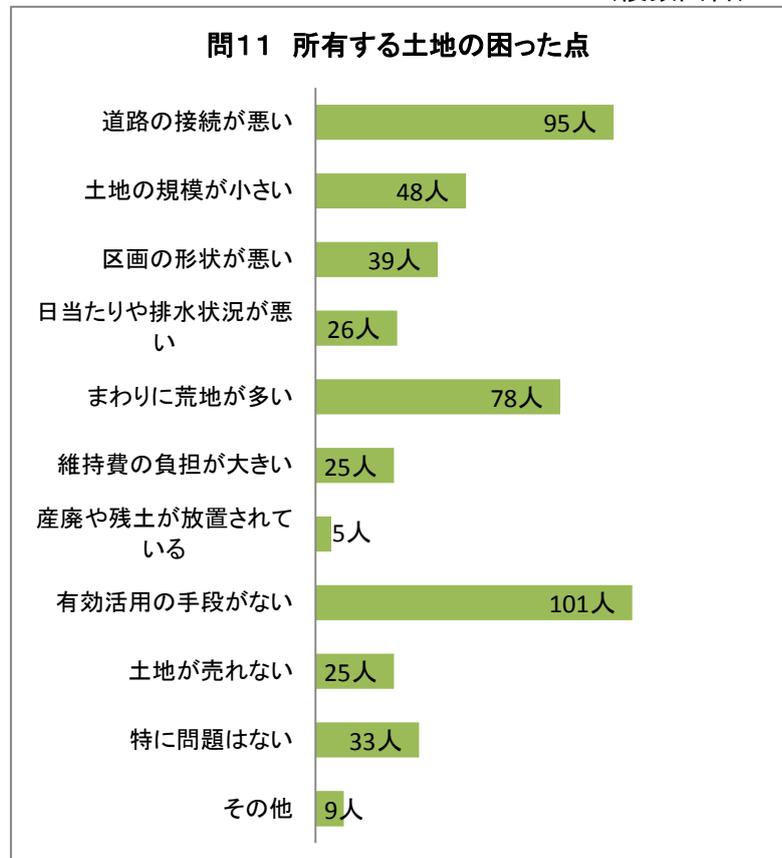
回答者653人のうち244人が「豊かな自然の土地利用を守る」と回答し、236人が「耕作放棄地を含む農地を計画的に利用する」と回答した。一方で「工業団地を造成する」が188人、「大規模商業施設誘致による商業機能の充実」が156人となっている。



問11. あなたが所有している農地又は山林について、お困りの点はありますか。

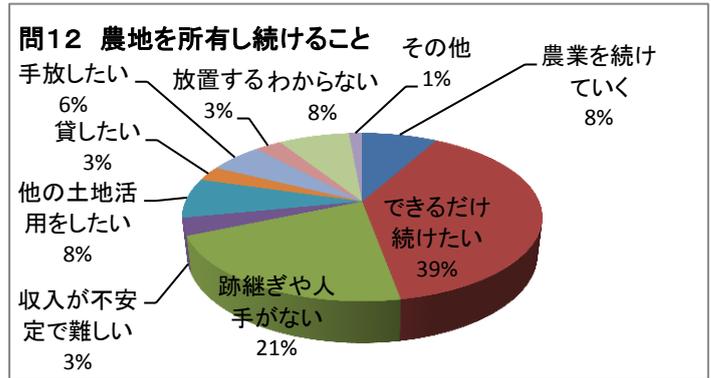
(複数回答)

回答者273人のうち「有効活用手段がない」と答えた人が最も多く101人、次いで「道路の接続が悪い」が95人、「まわりに荒地が多い」が78人となった。



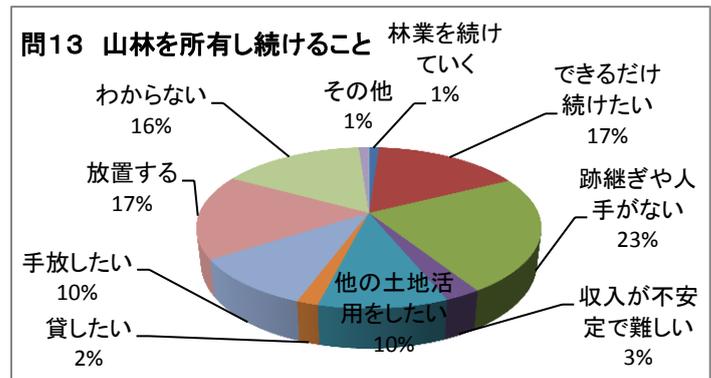
問12. 今後、農業や農地を所有し続けることについて、どのようにお考えですか。

農地を所有している210人の回答のうち「農業を続けていく」「できるだけ続けたい」と続ける意志のある人が47%で「跡継ぎや人手がない」「収入が不安定」などの続けていくのが困難である人が24%「他の土地活用をしたい」などの続ける意志のない人が20%となった。



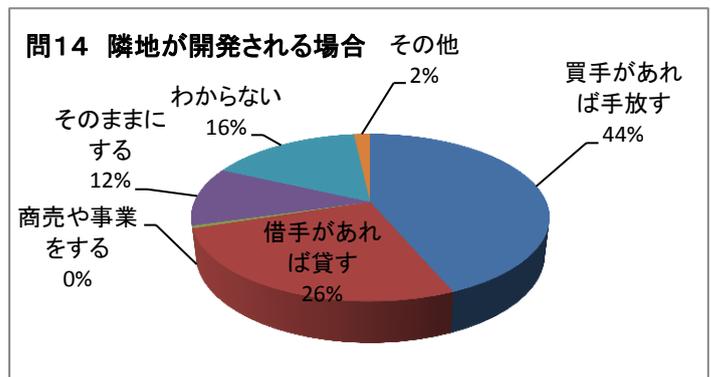
問13. 今後、林業や山林を所有し続けることについて、どのようにお考えですか。

山林を所有している人176人の回答のうち「林業を続けていく」「できるだけ続けたい」と続ける意志のある人は18%で「跡継ぎや人手がない」「収入が不安定」などの続けていくのが困難である人が13%「他の土地活用をしたい」などの続ける意志のない人が20%となった。



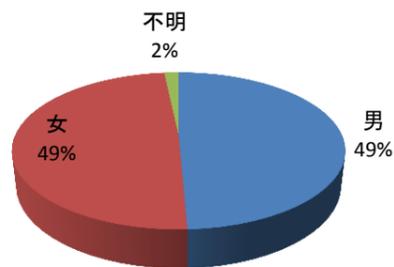
問14. あなたの農地や山林に隣りあって開発が行われる場合、あなたの土地はどうしますか。

回答者227人のうち、「買手があれば手放す」が44%、「借手があれば貸す」が26%となった。

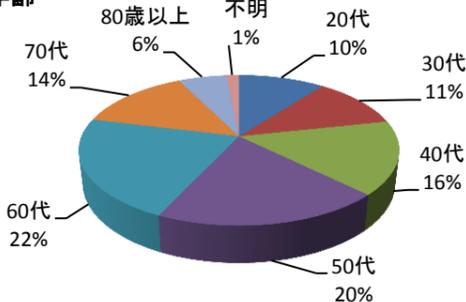


(複数回答)

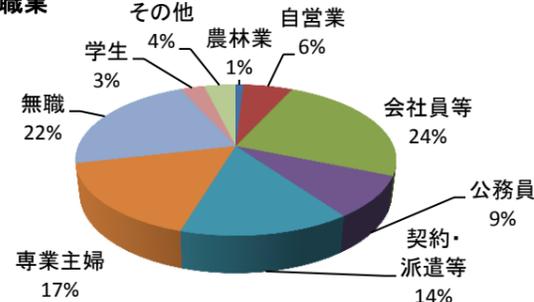
問1 性別



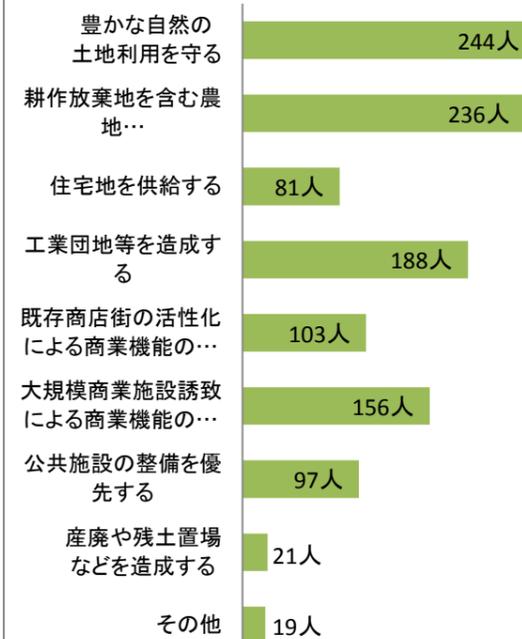
問2 年齢



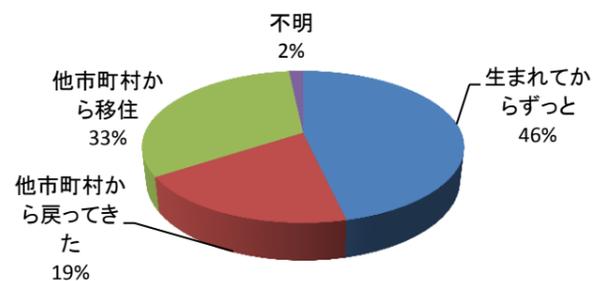
問3 職業



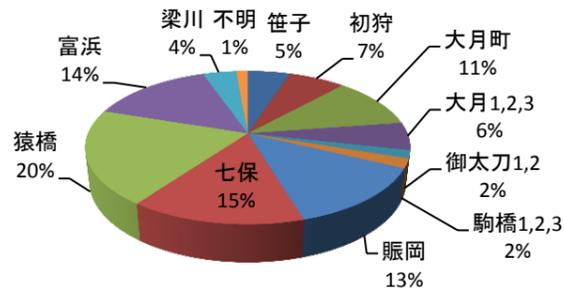
問10 土地利用の重要な施策



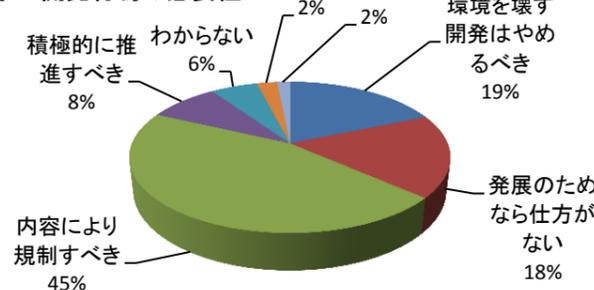
問4 大月市の居住履歴



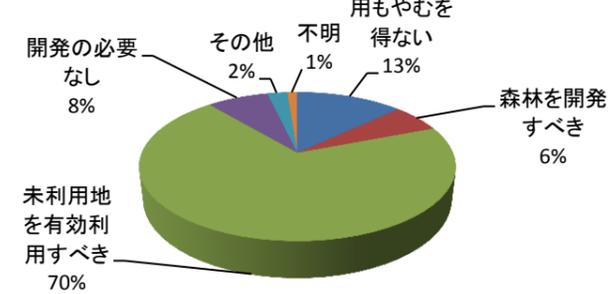
問5 居住地区



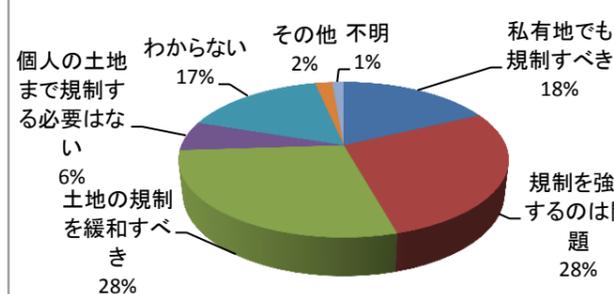
問6 開発行爲の必要性



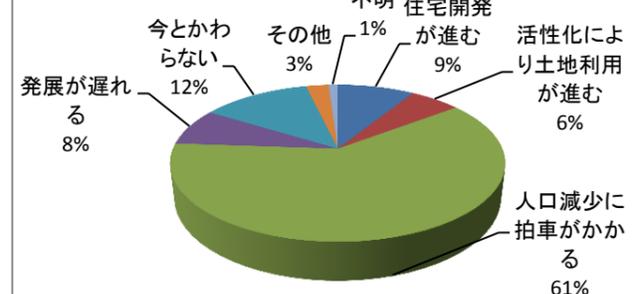
問7 宅地開発がされる場合



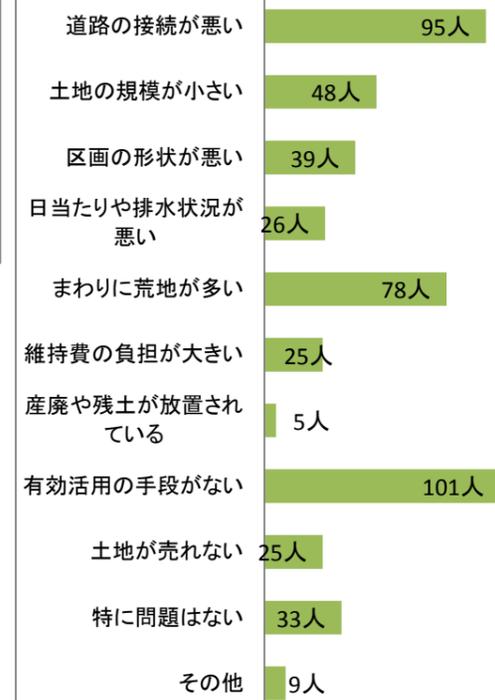
問8 土地利用のあり方



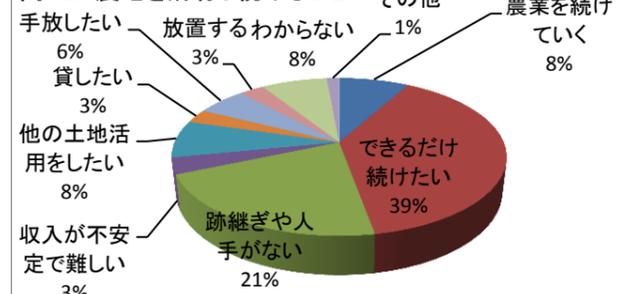
問9 大月市の今後の方向性



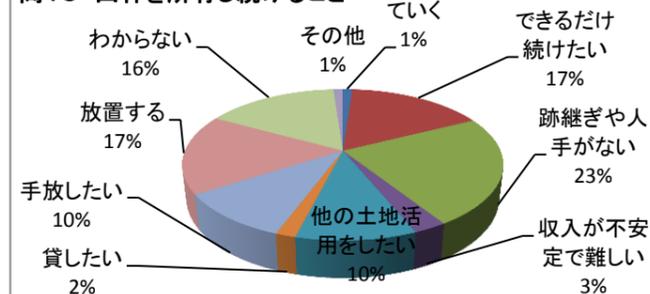
問11 所有する土地の困った点



問12 農地を所有し続けること



問13 山林を所有し続けること



問14 隣地が開発される場合

